

抗 Rhp51 抗体 (ウサギ血清)

免疫動物：ウサギ

ポリクローナル 抗血清

63-001 50 ul, 63-002 250ul

分裂酵母の Rhp51 タンパク質は大腸菌の RecA タンパク質やヒト Rad51 タンパク質の機能的及び構造的同源性を持って、相同的組換え及び組換え修復において中心的な役割を果たし、相同な DNA 鎖の交換反応を促進する機能をもっている (1)。

本品は大腸菌で組換え体タンパク質として発現させて、高度に精製した全長の Rhp51 を抗原としてウサギを免疫して作成した。

この抗血清を用いて、ウェスタンブロッティング法で分裂酵母溶解液から 40kD の Rhp51 タンパク質が検出された (図 1)。DNA 複製阻害や損傷によって染色体上に形成されるフォーカスが本抗体を用いて間接蛍光法で観察された (文献 2、3)。Rhp51 タンパク質は GFP タグを N-末及び C-末のどちらにつけてもその機能が失われるので、このような実験にはタグ付き Rhp51 は使用出来ない。この抗体は Rhp51 を含む複合体を免疫共沈澱法で証明する実験にも使われた (文献 4)。

用途

- 1) ウェスタンブロッティング (1,000～5,000倍希釈)
- 2) 免疫沈降実験
- 3) 間接免疫法によるフォーカス観察

製品の性質

性状： 0.09%アジ化ナトリウム添加抗血清

保存： 短期的には 4℃ (1年程度)、長期的には -80℃

データリンク Swiss-Prot [P36601](#)

文献 (この抗体は文献 2~4 に用いられた)

1. Lehmann AR "Molecular biology of DNA repair in the fission yeast *Schizosaccharomyces pombe*." *Mutation Res* **363**:147-161 Review (1996) PMID: [8765156](#)
2. Lambert S *et al* "Gross chromosomal rearrangements and elevated recombination at an inducible site-specific replication fork barrier." *Cell* **121**: 689-702 (2005) PMID: [15935756](#)
3. Morishita T *et al* "Role of the *Schizosaccharomyces pombe* F-Box DNA helicase in processing recombination intermediates." *Mol Cell Biol* **25**: 8074-8083 (2005) PMID: [16135799](#)
4. Haruta N *et al* "The Swi5-Sfr1 complex stimulates Rhp51/Rad51- and Dmc1-mediated DNA strand exchange in vitro." *Nat Struct Mol Biol* **13**: 823-830 (2006) PMID: [16921379](#)

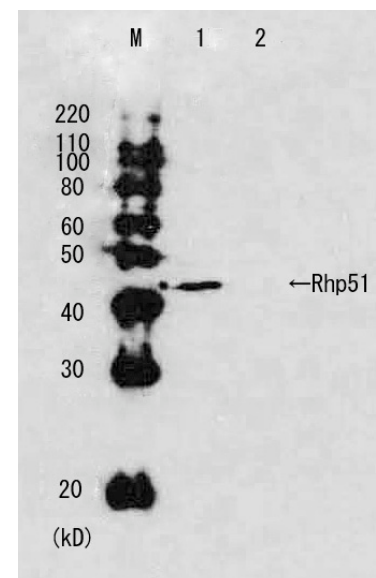


図 1. ウェスタンブロット法による分裂酵母中の Rhp51 の検出
 レーン M: 分子量マーカー
 レーン 1: 野生型株
 レーン 2: Rhp51 欠損株